

施設訪問ごんには

訪問先 (鴻巣市)

まごやま保育園

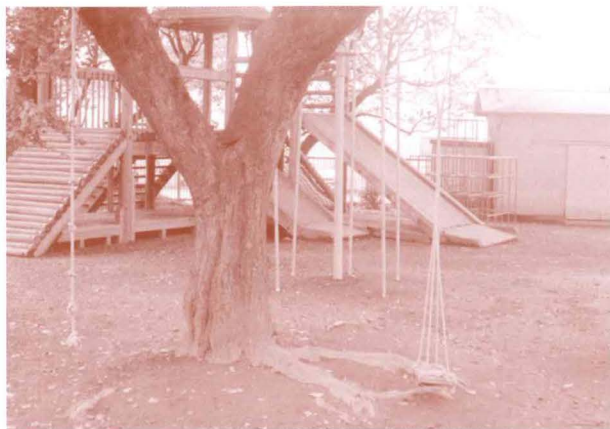
園長 福島 憲基先生



まごやま保育園は鴻巣駅から西へ2km、閑静な住宅街の中にあります。門を入った広い敷地に、今年新築になった白い園舎が迎えます。丸型のやさしい形の園舎はソーラーパネルを備えたエコ仕様でもあります。園内の樹齢200年を超えるクヌギやエノキの森は園に涼をもたらす

だけでなく、子ども達の遊具にもなっています。高く太い枝の上から吊るされたブランコは子ども達に大人気!!自然でありユーモアがあって楽しい雰囲気を感じられました。

訪問した日はちょうど畑の里芋と落花生の収穫が行われており、子どもたちの賑やかな声が



聞こえていました。掘り出された子ども達は嬉しそうに友達や先生に見せていました。里芋や落花生まで栽培している園は少ないと思います。また、園内には蜜柑・イチジク・ざくろ・かりん・サクラランボといった果樹が沢山植えられています。そのことを園長先生からのお話で「様々な経験や体験・野菜の生り方、収穫の仕方といったものの知識を生活の中で学ばせたい」と伺いました。



案内された新園舎は入口中央ロビーの高い天井に青空の模様が描かれ、のびのびとした広い空間になっています。その周りを各クラスのきれいな部屋が取り囲み、楽しく機能的な造りになっています。

園舎内を案内してもらいました。リズム室では子ども達のしなやかな身体作りのためのリズム体操や日本の伝統芸能を学ぶ和太鼓練習が行われます。また、まごやま文庫では数多くの絵本が自由に選べ、子ども達の豊か



な情操づくりに役立っています。子ども達は給食の時間になりました。年中・年長組になると、お当番がきちんと配膳をしてくれます。子ども達は手作り給食を美味しく楽しそうに頂いています。「食育」は、園長先生が園創立(昭和49年)当初から特に力を入れています。当時珍しかったコレールの食器を使い、食材にもこだわり、自然の恵みを大切にしています。子ども達が食に関わり、興味を持つための保育行事も数多くあり



ます。年間の畑作りのほか、果物の収穫体験、その果物を使ったジャム作り、パンやクッキー作り、折々の伝統行事食づくり、等等です。

ロビーに戻ると、先日行われた運動会の写真が壁面いっぱい飾られていました。目を引くのは草木染め・藍染めされた園児のTシャツです。先ほどの園長先生のお話で出た「生活の中から様々な体験・経験を学ぶ。ものの知識を学ぶ」ことが出来ます。「例えば、よもぎも食べ



る(よもぎ団子)だけでなく、こうして生活にも食にも使えることを学ぶことが出来ます。」とのことでした。

また、薄着で強い子・活発な子はまごやま保育園の方針の一つです。「自然を感じ、活発で元気な子に育つよう、月ごとにねらいを決めて、薄着の習慣をつけさせています。夏のプールや冬のマラソンで、身体の育成に力を入れています。」とお話でした。

活を用意されたまごやまの子ども達、信頼を寄せる保護者の方たち、それを見守る地域の方達、多くの人達に愛されている保育園だと思いました。
明るく元気な子ども達、一生懸命な職員達、朗らかな理事長先生のお人柄、楽しい空間・すてきがいっぱいのまごやま保育園にみなさん、ぜひいらしてください。

